

新株予約権を用いた 資金調達について

2020年12月11日

FOR QUALITY CONFIDENCE



1. 資金調達の目的・資金使途

2. 本新株予約権の特徴

3. 本新株予約権の仕組み

4. 本新株予約権の概要

5. M&A戦略

6. 成長目標

今後の成長戦略実現に向けての調達

資金調達の目的

- 既存事業の強化に加え、新たな領域への事業展開を加速していくため、M&A実施に向けた必要資金の確保
- 当社のさらなる発展を実現し企業価値を高めるための財務体質の強化

資金使途

■ M&A及び資本・業務提携に係る資金

- 既存技術領域の強化
- 新規技術領域への事業展開

■ 新規サービスの開発費用

- セキュリティ分野における新規サービスの開発
- テストサービス分野におけるテスト自動化技術やテスト管理ツールへの投資

■ 事業拡大のための運転資金

- 事業成長に比例して拡大する運転資金への対応

上記の具体的な使途については、支出時期の早く到来したのから順に充当していく予定

既存株主の皆様の利益に最大限配慮しながら、 更なる成長へ向けた資金を確保

発行時点での希薄化率の固定

- 発行後の当社の株価動向にかかわらず、本新株予約権の行使による最大増加株式数は固定
- 最大の交付株式数は650,000株、希薄化率（対議決権総数）は9.40%
- 潜在株式数が増加する転換社債型新株予約権付社債（一般的なMSCB）とは相違

行使コントロールが可能な設計

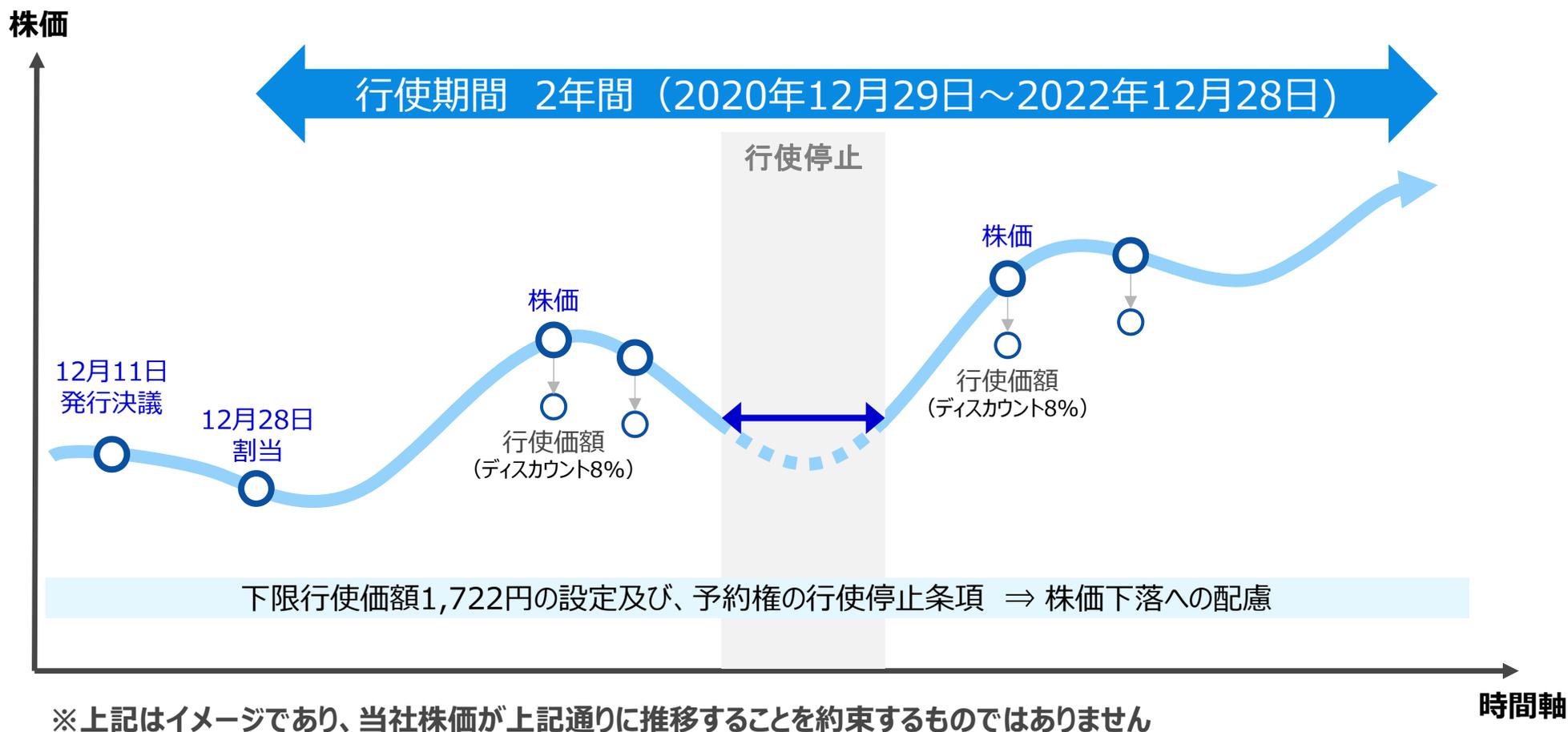
- 本新株予約権には停止指定条項が付与されており、株価動向等を勘案して当社が割当先による本新株予約権の行使を停止したい場合は、停止することが可能
- 株価動向を見極め、行使の時期・数量を一定程度コントロールすることが可能

資金需要に応じた柔軟な資本政策

- 当社の判断で新株予約権の取得・消却が可能
- 資本調達の実必要性がなくなった等の場合には、当社の判断で残存する新株予約権を払込金額と同額で取得し消却することができるため、資本政策の柔軟性を担保

株価動向を見極め、予約権の行使をコントロール

- 株価動向を見ながら、当社から新株予約権の行使を制限することができます
- 修正後の行使価額が下限行使価額を下回る価額に修正されることはありません
- 今後の株価動向により、資金調達額は変動します



新株予約権による資金調達を実施

第3回新株予約権 (行使価額修正条項 及び 停止指定条項付)

調達想定額 ※	16億円 ※当初行使価額に基づき算出	
新株予約権の個数	6,500個	
潜在株式数 / 希薄化率	潜在株式数650,000株 / 希薄化率 (対議決権総数) 9.40% (2020年9月30日時点の総議決権数69,172個)	
行使可能期間	2年間 (2020年12月29日～2022年12月28日)	
行使 価額	当初	2,460円 (発行決議日(2020年12月11日)の直前取引日の終値)
	上限	なし
	下限	1,722円 (当初行使価額の70%)
	行使価額の修正	行使請求の直前取引日の終値の92%(但し、下限行使価額は下回らない)
停止指定条項	当社は2020年12月30日から2022年6月28日までの期間中、割当先に対して行使ができない期間を指定することが可能	
当社による任意取得	2週間以上前の事前通知により、当社は残存する本新株予約権を発行価額と同額で取得することが可能	

※詳細は2020年12月11日公表のプレスリリース「第三者割当による第3回新株予約権の発行に関するお知らせ(行使価額修正条項付新株予約権(停止指定条項付)の発行)」をご参照ください。

既存技術領域及び新規技術領域におけるM&A・投資を積極的に実施

既存技術 領域

1 エンジニアを多数抱えるSIer企業

- 従来SIer企業自身が実施していたテスト工程を、独自のテストノウハウを持つ当社が担当することで、技術的な客観性を担保すると同時に工数削減や労働時間の圧縮を実現

2 toB向けパッケージ製品を持つソフトウェア企業

- 現在は当社にテスト作業のみを依頼している顧客企業に対し、パッケージソフトとテストサービスをセットで販売することで、ソフトの販売拡大とテスト工程の受注拡大を実現

3 セキュリティ関連サービスを展開する企業

- 当社のグループ会社であるバルテス・モバイルテクノロジー株式会社で実施するセキュリティ診断技術との連携を通じたさらなるサービスの向上

新規技術 領域

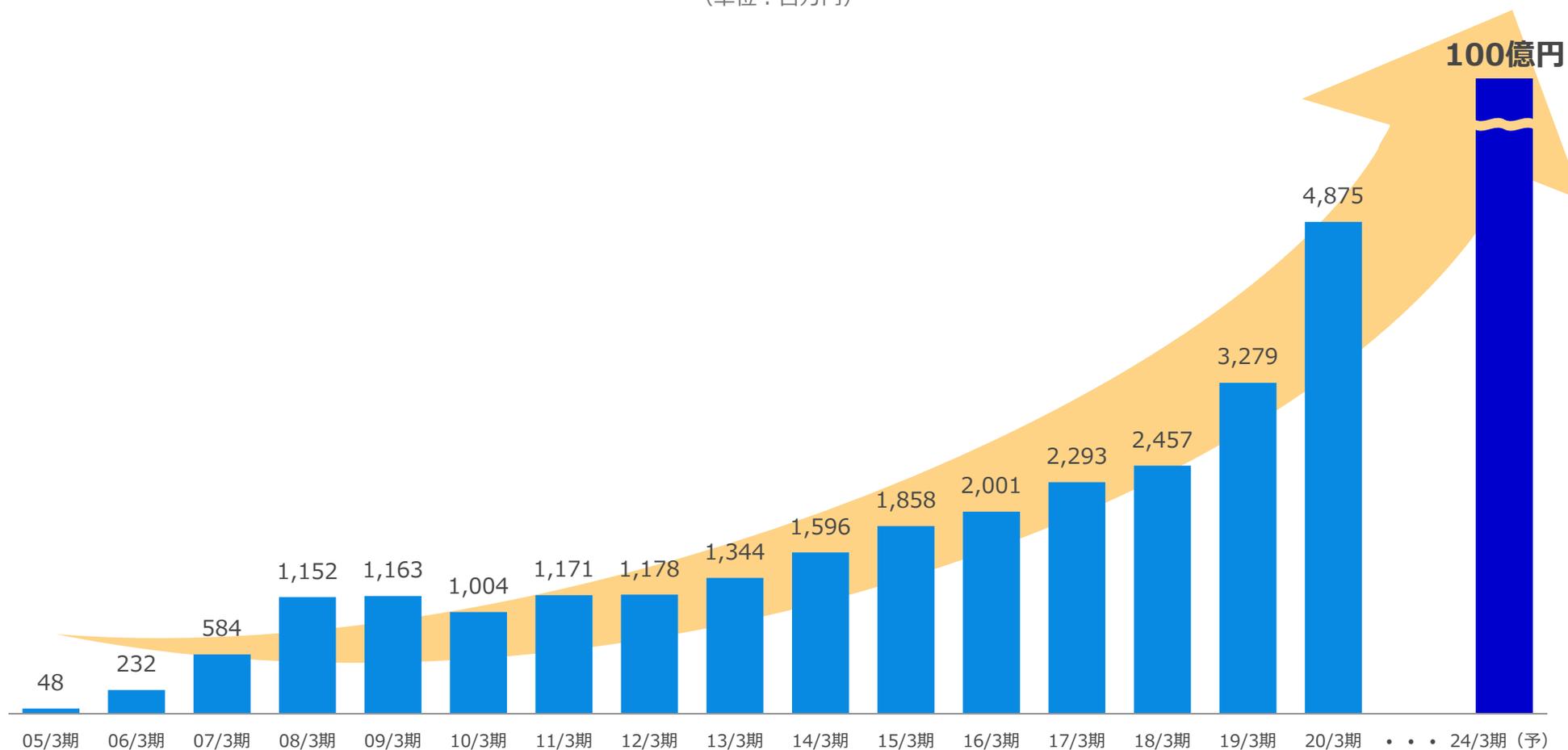
4 バリューチェーン・プロセスを有する企業

- システム開発全般におけるバリューチェーン・プロセスを持つ企業とのM&A及び資本・業務提携により、当社グループが提供するソフトウェア開発の品質コンサルティングサービス及びテスト工程におけるテスト支援サービスのシナジーを追求しバリューアップを実現

中期成長目標として売上高**100億円**を目指す

売上高の推移（予）

（単位：百万円）



ご留意事項

本資料は、第三者割当による第3回新株予約権の発行（行使価額修正条項付新株予約権（停止指定条項付）の発行）に関する情報提供を目的としたものであり、当社への投資勧誘又はそれに類似する行為のために作成されたものではありません。

本資料には、当社グループの現在の計画や見通しなどが含まれております。
これらの将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予想したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素により、この計画・予想などとは異なる場合があります。
本資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。
なお、本資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。